

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成
 20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	学童クラブ等障害児受入事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名	合志良一
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	子育て支援課	担当者名	牧野淳一
	基本事業	58	子育てと仕事の両立支援	所属班	子ども保育班	(内線)	2158
				法令根拠			

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
	1	3	2	4	10583			コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H20 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 ・発達障害児等の障害児を受入れている放課後学童クラブ(5小学校学童クラブ及びキッズクラブ=放課後児童健全育成事業の補助対象クラブ)に対して、専門知識等を有する障害児対応指導員を派遣し、障害児の保育支援を行う。(国の制度変更により、平成20年度より実施としているが、国の要項等がまだ未提示であるため、詳細は不明。)
 【業務の流れ】
 ・障害児対応指導員の選任、派遣

【主な予算費目】
 1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・国の制度変更に伴い、障害児を受け入れている学童クラブへ障害児対応指導員を派遣する。なお、平成20年度障害児受入れ予定の学童クラブは、4クラブの予定である。 (平成19年度までは、障害児を受入れた学童クラブ(2クラブ)に対して、加算(872,100円)を行い補助金を支給しているため、指導員の加配等は保護者会で対応している。)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) クラブ ア 放課後学童クラブ数 → イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	・学童クラブが受け入れている障害児数	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人 ア 学童クラブの受入れ障害児数 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・安心して子育てができる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) クラブ ア 障害児を受け入れている学童クラブ数 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	・安心して子育てができる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) 人 ア 保育所入所者数 → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0 0
		都道府県支出金	千円			2,956	2,956	3,789	4,736	
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円			1,479	2,728	1,895	2,369	
	(A) 事業費計	千円	0	0	4,435	5,684	5,684	7,105	0	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人			3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間			60	40	40	40		
(B) 人件費計	千円	0	0	239	159	159	159	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	4,674	5,843	5,843	7,264	0		

活動指標	ア クラブ			6	6	7	7	3
	イ							3
対象指標	ア 人			4	12	10	10	3
	イ							
成果指標	ア クラブ			4	4	4	5	
	イ							
上位成果指標	ア 人							22 年度
	イ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 ・放課後学童クラブで発達障害児等の障害児を受入れる場合、これまでは障害児受入れ加算(872,100円)として学童クラブを運営している保護者会への補助金に上乗せして補助していた。(H19年度障害児受入れ 2学童クラブで実施)国の制度変更により障害児の受入れ体制を強化するとして、専門知識等を有する障害児対応指導員を派遣することに、平成20年度より制度変更される予定であるが、国の要項等がまだ未提示であるため、詳細は不明である。市の実施要綱等も国の状況をみながら制定する予定である。なお、平成20年度の障害児受入れ予定の学童クラブは、4クラブである。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 ・放課後学童クラブでの発達障害児等の障害児を受入れる場合、国の障害児の受入れ体制を強化するとして、専門知識等を有する障害児対応指導員を市町村が派遣することに、平成20年度より制度変更される予定であるが、国の要項等がまだ未提示であるため、詳細は不明である。市の実施要綱等も国の状況をみながら制定する予定である。なお、平成20年度の障害児受入れ予定の学童クラブは、4クラブである。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 ・放課後学童クラブにおける障害児の受入れ体制の強化について、議員からの一般質問がなされている。(H19.12第4回定例会)

※ 872,100円の積算根拠(合併協の調整事項)765円×4H×285日=872,100円
 (国基準額 687,000円 一般財源 185,100円)

事務事業名	学童クラブ等障害児受入事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	---------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ ・「安心して子育てができる」に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ ・国の制度変更により、平成20年度から放課後学童クラブが障害児を受入れている場合は、市町村が障害児対応指導員を派遣することとなった。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ ・放課後における学童の保育であり、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ ・障害児童を受け入れに伴う指導員研修等を年数回実施し、指導員の室の向上に努める。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ ・学童クラブの障害児受入に伴って、クラブ自体の質が低下し、児童の安全で健全な保育に欠ける。若しくは、障害児預かりが出来ず、利用者に不便をかける。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ ・国が市町村の責任の下に実施させる事業である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・現在の額でも国の定める基準以下で設定している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・現在、ぎりぎりの職員で対応している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 本事業の対象は障害児童を受け入れる学童クラブ自体であるため、当該事業を行うことでクラブ全体の子どもの健全育成につながっているため公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。 現在、保育園や小学校では発達障害といわれる児童が増えており、その数は全体の6%といわれている。しかしながらグレーゾーンをみる

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 国の基準額よりも低い額で実施しているため、今年度の実施状況によっては増額する必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		○	維持			低下			
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上		○																	
	維持																			
低下																				

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
指導員の質の向上を図るため、質も高い研修等を年数回実施しなければならない。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)